

学 年

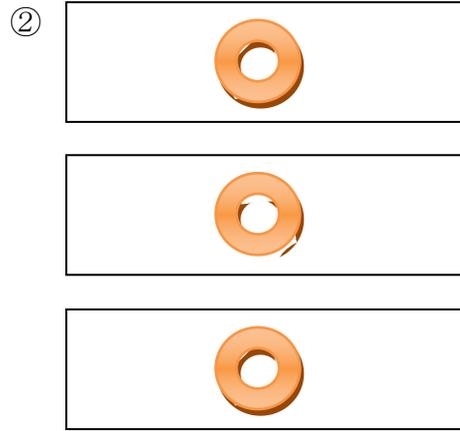
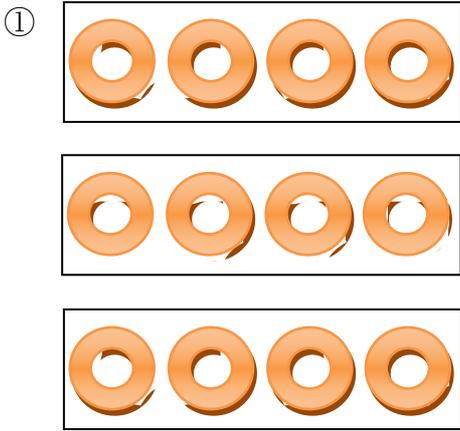
3 年

かけ算①

年 組 氏名

1 次の絵のドーナツの数をあらわすかけ算の式を下からえらんで、 にその式の記号をかき

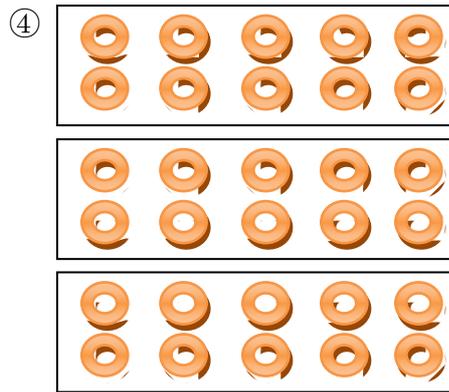
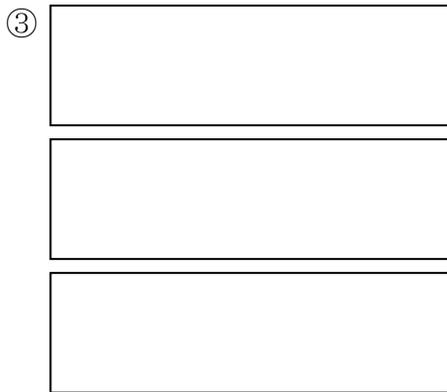
ましょう。また、() に計算の式をかき、答えも求めましょう。



しき () しき ()

答え _____

答え _____



しき () しき ()

答え _____

答え _____

ア	3×1	イ	0×3	ウ	3×4
エ	10×3	オ	3×0	カ	4×3
キ	1×3	ク	3×10		

学 年

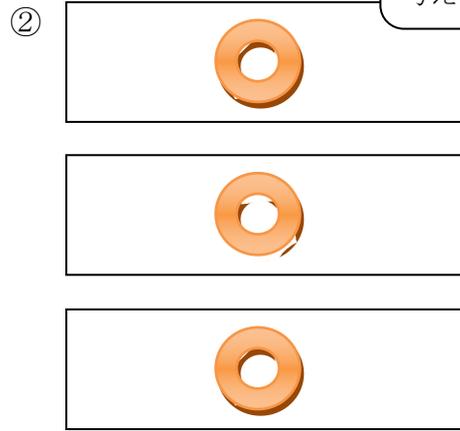
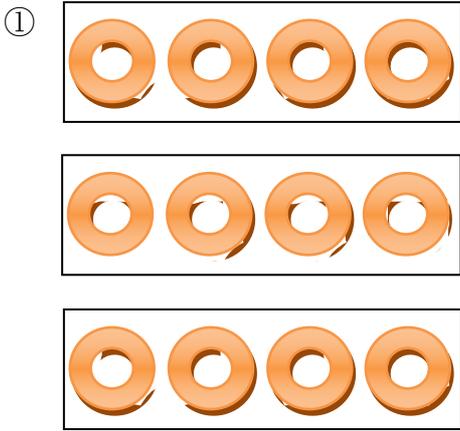
3 年

かけ算①

年 組 氏名

1 次の絵のドーナツの数をあらわすかけ算の式を下からえらんで、 にその式の記号をかき
 ましょう。また、() に計算の式をかき、答えも求めましょう。

なんこずつ
 いくつ分あるかを
 考えよう！

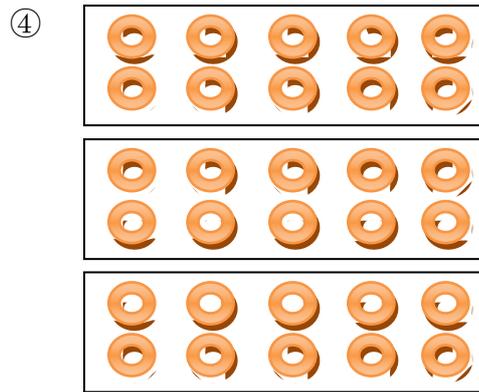
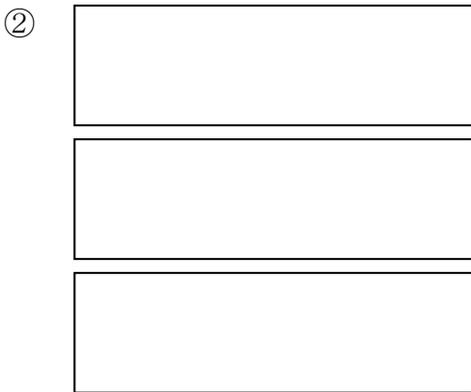


しき カ ($4 \times 3 = 12$)

しき キ ($1 \times 3 = 3$)

答え 12こ

答え 3こ



しき イ ($0 \times 3 = 0$)

しき エ ($10 \times 3 = 30$)

答え 0こ

答え 30こ

<input type="checkbox"/> ア	3×1	<input type="checkbox"/> イ	0×3	<input type="checkbox"/> ウ	3×4
<input type="checkbox"/> エ	10×3	<input type="checkbox"/> オ	3×0	<input type="checkbox"/> カ	4×3
<input type="checkbox"/> キ	1×3	<input type="checkbox"/> ク	3×10		

学 年

3 年

かけ算②

年 組 氏名

① 九九の表を見て考えています。□ にあてはまる数や _____ にあてはまることばをかきましょう。

① かける数が1ずつふえるとき、3のだんの答えは3ずつ _____ から、 3×7 の答えは、

$3 \times 6 + \square$ で \square です。

② かける数が1ずつへると、4のだんの答えは□ ずつへるから、 $4 \times \square$ の答えは、

$4 \times \square$ の答えから4をひいて28です。

③ 8×5 の答えをわすれた！ でも、かけられる数と _____ 数をいれかえても同じ答

えになるから、 $\square \times \square$ の答えと同じで \square だということがわかります。

九九表

		かける数								
		1	2	3	4	5	6	7	8	9
かけられる数	1	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	2	2	4	6	8	10	12	14	16	18
	3	3	6	9	12	15	18	21	24	27
	4	4	8	12	16	20	24	28	32	36
	5	5	10	15	20	25	30	35	40	45
	6	6	12	18	24	30	36	42	48	54
	7	7	14	21	28	35	42	49	56	63
	8	8	16	24	32	40	48	56	64	72
	9	9	18	27	36	45	54	63	72	81

2 九九の表よりも大きな数のかけ算にチャレンジしましょう。

① 5のだんの答えは、 ずつふえるから、

$$5 \times 10 \text{ の答えは、 } 5 \times 9 + \text{} = \text{} \text{。}$$

$$5 \times 11 \text{ の答えは、 } 5 \times 10 + \text{} = \text{} \text{。}$$

$$5 \times 12 \text{ の答えは、 } 5 \times 11 + \text{} = \text{} \text{ となります。}$$

② 10のだんがあるとしたら、 ずつふえます。 $10 \times 1 = \text{}$ からスタートすると、

$$10 \times 2 \text{ の答えは、 } 10 \times 1 + \text{} = \text{} \text{。}$$

$$10 \times 3 \text{ の答えは、 } 10 \times 2 + \text{} = \text{} \text{。}$$

学 年

3 年

かけ算②

年 組 氏名

1 九九の表を見て考えています。□にあてはまる数や _____ にあてはまることばをかきましょう。

① かける数が1ずつふえるとき、3のだんの答えは3ずつ ふえる から、 3×7 の答えは、 $3 \times 6 + \mathbf{3}$ で $\mathbf{21}$ です。

② かける数が1ずつへると、4のだんの答えは $\mathbf{4}$ ずつへるから、 $4 \times \mathbf{7}$ の答えは、 $4 \times \mathbf{8}$ の答えから4をひいて28です。

③ 8×5 の答えをわすれた！ でも、かけられる数と かける 数をいれかえても同じ答えになるから、 $\mathbf{5 \times 8}$ の答えと同じで $\mathbf{40}$ だということがわかります。

九九表

		かける数								
		1	2	3	4	5	6	7	8	9
かけられる数	1	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	2	2	4	6	8	10	12	14	16	18
	3	3	6	9	12	15	18	21	24	27
	4	4	8	12	16	20	24	28	32	36
	5	5	10	15	20	25	30	35	40	45
	6	6	12	18	24	30	36	42	48	54
	7	7	14	21	28	35	42	49	56	63
	8	8	16	24	32	40	48	56	64	72
	9	9	18	27	36	45	54	63	72	81

② 九九の表よりも大きな数のかけ算にチャレンジしましょう。

④ 5のだんの答えは、**5** ずつふえるから、

$$\begin{aligned} 5 \times 9 &= 45 \\ 45 + 5 &= 50 \quad \text{ですね。} \end{aligned}$$

5 × 10の答えは、5 × 9 + **5 = 50**。

$$\begin{aligned} 5 \times 10 &= 50 \\ 50 + 5 &= 55 \quad \text{ですね。} \end{aligned}$$

5 × 11の答えは、5 × 10 + **5 = 55**。

$$\begin{aligned} 5 \times 11 &= 55 \\ 55 + 5 &= 60 \quad \text{ですね。} \end{aligned}$$

5 × 12の答えは、5 × 11 + **5 = 60** となります。

⑤ 10のだんがあるとしたら、**10** ずつふえます。 10 × 1 = **10** からスタートすると、

10 × 2の答えは、10 × 1 + **10 = 20**。

10 × 3の答えは、10 × 2 + **10 = 30**。

学 年

3 年

かけ算③

年 組 氏名

1 (1) 次の計算をしましょう。

$$12 \times 4 =$$

(ひっ算)

×		

(2) この筆算は、 12×4 を2つの計算に分けて計算して、あとで2つの答えを合せています。どんな計算に分けていますか？

$$() \times () = ()$$

$$() \times () = ()$$



$$() + () = ()$$

(3) このことを下の図を使って説明しましょう。

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

○ ○

○ ○

○ ○

○ ○

学 年

3 年

かけ算③

1 (1) 次の計算をしましょう。

$$12 \times 4 = 48$$

	1	2
×		4
	4	8

10に4をかけて、40。

2に4をかけて、8。

10×4、2×4の
どちらからけいさん
しても、できますね。

(2) この筆算は、 12×4 を2つの計算に分けて計算して、あとで2つの答えを合わせています。どんな計算に分けていますか？

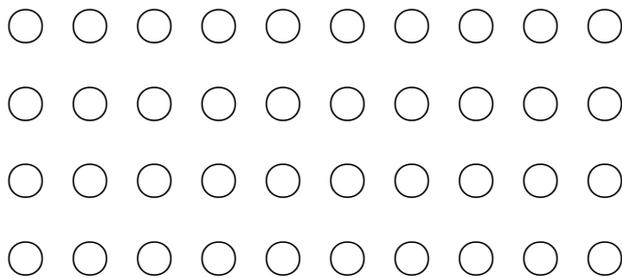
$$(2) \times (4) = (8)$$

$$(10) \times (4) = (40)$$



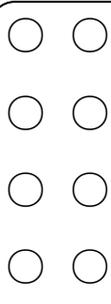
$$(8) + (40) = (48)$$

(3) このことを下の図を使って説明しましょう。



10が4つで

$$10 \times 4 = 40$$



2が4つで

$$2 \times 4 = 8$$

合わせて、 $40 + 8 = 48$

答えは48になります。

学 年

3 年

かけ算④

年 組 氏名

1 次の () にあう数字をかきましょう。

① 24×5 の計算は() $\times 5$ と $20 \times$ () に分けて計算して、2つの答えをあわせませす。

() $\times 5 =$ ()

$20 \times$ () $=$ ()

() $+$ () $=$ () で 答えは () です。

これをひとつの式にかくと

() $\times 5 + 20 \times$ () $=$ () です。

② 325×4 の計算は() $\times 4$ と $20 \times$ () と $300 \times$ () に分けて計算して、

三つの答えをあわせませす。

() $\times 4 =$ ()

$20 \times$ () $=$ ()

$300 \times$ () $=$ ()

() $+$ () $+$ () $=$ () で 答えは () です。

これをひとつの式にかくと

() $\times 4 + 20 \times$ () $+$ $300 \times$ () $=$ () です。

③同じように考えれば、千の位のかけ算もできます。

4123×2の計算は

()×2 と 20×() と ()×2 と 4000×()

に分けて計算して、四つの答えをあわせればできます。

$$() \times 2 = ()$$

$$20 \times () = ()$$

$$() \times 2 = ()$$

$$4000 \times () = ()$$

$$() + () + () + () = () \quad \text{で}$$

答えは()です。

④これを、ひとつの式にかくと、

$$3 \times () + 20 \times () + 100 \times () + 4000 \times ()$$

$$= () + () + () + ()$$

$$= ()$$

学 年

3 年

かけ算④

1 次の () にあう数字をかきましょう。

① 24×5 の計算は

$(4) \times 5$ と $20 \times (5)$ に分けて計算して、2つの答えをあわせませす。

$$(4) \times 5 = (20)$$

$$20 \times (5) = (100)$$

$$(20) + (100) = (120) \quad \text{で 答えは (120) です。}$$

これをひとつの式にかくと

$$(4) \times 5 + 20 \times (5) = (120) \text{ です}$$

上の式を合わせるだけだよ。

② 325×4 の計算は

$(5) \times 4$ と $20 \times (4)$ と $300 \times (4)$ に分けて計算して、三つの答えをあわせませす。

$$(5) \times 4 = (20)$$

$$20 \times (4) = (80)$$

$$300 \times (4) = (1200)$$

$$(20) + (80) + (1200) = (1300) \text{ で 答えは (1300) です。}$$

これをひとつの式にかくと

$$(5) \times 4 + 20 \times (4) + 300 \times (4) = (1300) \text{ です。}$$

上の式を合わせるだけだよ。

③同じように考えれば、千の位のかけ算もできます。

4 1 2 3 × 2 の計算は

(3) × 2 と 2 0 × (2) と (1 0 0) × 2 と 4 0 0 0 × (2)

に分けて計算して、四つの答えをあわせればできます。

$$(3) \times 2 = (6)$$

$$2 0 \times (2) = (4 0)$$

$$(1 0 0) \times 2 = (2 0 0)$$

$$4 0 0 0 \times (2) = (8 0 0 0)$$

万の位になっ
てもできそう
だね。

$$(6) + (4 0) + (2 0 0) + (8 0 0 0) = (8 2 4 6) \quad \text{で}$$

答えは (4 2 4 6) です。

④これを、ひとつの式にかくと、

$$\begin{aligned} & 3 \times (2) + 2 0 \times (2) + 1 0 0 \times (2) + 4 0 0 0 \times (2) \\ & = (6) + (4 0) + (2 0 0) + (8 0 0 0) \\ & = (4 2 4 6) \end{aligned}$$

になります。